

音楽会を きいて

男声合唱団「昂」

春を呼ぶコンサート

2月2日 阿倍野区民センター

スタートから全国に名を知られ、うたごえ祭典で常に上位入賞を続けている「昂」、今年で結成7周年目とか。赤をグレーのシャツに着替えて背筋をしゃん

と伸ばして並んだ姿は「平和を呼ぶ歌人たち」という感じがしました。

ロシア民謡も含めて11曲を演奏されたが、平和の歌や、人生の歌に合唱団の特徴が発揮されて感動しました。力強さと繊細さを曲に合わせて出すところが魅力的だったし、司会をメンバーが何人かで分担するのも、曲に対する思いやうたう意味をユーモアまじりで



伝えるのに有効的だった。

熱烈なファンが多いというのも納得がいきました。

佐藤信作詞、林光作曲の「花の歌」は中米での新たな

るメンバーの、しみじみとした愛の歌、人間の歌になっていて、ピアノソロも披露された近藤静さんの伴奏も見事でした。檀美知生さんのテノールソロまであった。

なうねりを思わせて印象に残りました。最後の「川の流れのように」は女声合唱とまた違った意味で聴かせ、平和を求めて歌い続け

平和呼ぶ歌人たち

なうねりを思わせて印象に残りました。最後の「川の流れのように」は女声合唱とまた違った意味で聴かせ、平和を求めて歌い続け

せ、平和を求めて歌い続け

上殿紀久子（日本のうたごえ祭典in奈良 実行委員 会運営委員長）